

# 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会

小牧市民病院 心臓血管外科

## 【小牧市民病院における心臓血管外科研修】

- 2年の初期研修の後に、外科専門医習得のための修練を行います。
- 修練開始後、5年以上経過した時点で外科専門医の習得を目指します。
- 卒後修練期間7年以上経過した時点で、心臓血管外科専門医の習得を目指します。
- 成人心臓血管外科一般の研修が可能です。

## 【診療科の特色】

- ・ 成人の心臓・血管疾患全般を対象として外科治療を行っています。当科の特徴としては1992年に日本でいち早く僧帽弁形成術を導入し、これまでに300件以上に治療を行い、その手術成績は良好です。
- ・ 大動脈弁逆流に対する弁形成術や、自己心膜を用いた再建術も行っています。機械弁や生体弁などの人工弁もありますが、術後の長期に及ぶQOL（生活の質）は圧倒的に形成術の方が優れています。

## 【診療科の特色】

- ・冠動脈バイパス術は人工心肺下心停止手術を基本としていますが、脳血管病変合併例や大動脈性状不良例は人工心肺を用いないオフポンプ手術で行なっています。
- ・大動脈瘤の手術成績も飛躍的に向上し、2～3週間で退院できるようになりました。大動脈基部拡張症に対する自己弁温存手術も安全に行うことができます。
- ・また、当院は救命救急センターであり、不安定狭心症、急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂などの重症疾患に対して24時間体制で対応しています。

# 【手術】

## ・ 虚血性心疾患の手術

虚血性心疾患の手術としては冠動脈バイパス術が主体で、内胸動脈と大伏在静脈、その他に胃大網動脈や橈骨動脈をグラフトとして使用しています。脳梗塞のリスクの高い場合には人工心肺を使用しないオフポンプCABG（OPCAB）を、低心機能に対しては心停止を行わない、On pump beating CABGを選択しています。

左室破裂や、心室中隔穿孔、乳頭筋断裂などの心筋梗塞合併症に対しても、左室形成術や、弁形成、弁置換術で治療を行なっています。

## 【手術】

### ・ 心臓弁膜症

1992年より積極的に弁形成術を導入し、現在までに僧帽弁382件、大動脈弁に75件行いました。弁形成成功率は98.8%です。

人工弁を使用する際は、高齢者、拳児希望の女性やワーファリン服用を希望されない方などには、患者さんのライフスタイルも考慮した上で生体弁を使用しています。生体弁は年齢にもよりますが、大動脈弁位15年、僧帽弁位10-15年の耐用年数が期待できます。

一方、機械弁は生涯ワーファリンの内服が必要ですが、耐久性に優れており、若年者に適しています。

術前から心房細動を合併している場合には、正常リズムに戻すメイズ手術を弁手術と同時に施行し、70%の改善を認めます。

## 【手術】

- ・ 大動脈疾患の手術  
大動脈解離のうち、上行大動脈に解離を有するA型には緊急手術を行います。近年は手術成績も向上し、90%で救命可能です。しかし、術前状態が不良な方や、脳の灌流不全のある場合は手術できない、あるいは救命できない事もあります。
- ・ 先天性心疾患の手術  
現在、小児の手術は行なっていません。成人の先天性心疾患に対して根治術を行っていません。
- ・ 動脈疾患の手術  
閉塞性動脈硬化症や急性動脈閉塞に関しては、循環器内科と協力し、バイパス術、血管内治療、内膜摘除、血栓除去を行っていません。
- ・ 静脈疾患の手術  
下肢静脈瘤に関してはレーザー治療、ストリッピング手術、不全交通枝結紮術、高位結紮術、硬化療法を行っていません。

## 【2020年度の実績】

心大血管手術		100件
冠動脈バイパス術＋心筋梗塞合併症手術		38件
心臓弁膜症手術	僧帽弁形成術	13件
	大動脈弁形成術	2件
	自己弁温存基部置換術	3件
	自己心膜使用による形成術	5件
	僧帽弁置換術	3件
	大動脈弁置換術	8件
先天性心疾患手術		5件
その他の心臓手術		4件
胸部大動脈瘤手術	人工血管置換術	17件
	ステント手術	2件



## 【2020年度の実績】

末梢血管手術		101件
腹部大動脈瘤手術	人工血管置換術	14件
	ステント手術	24件
動脈疾患手術		16件
下肢静脈瘤手術		47件

## 【医師紹介】

医師名	職名
澤崎 優	副院長 心臓血管外科部長
泊 史朗	心臓血管外科部長
末永 啓人	医長
秋田 翔	医長
石橋 宏之	非常勤医師 愛知医科大学 血管外科教授
藤井 太郎	非常勤医師 名古屋大学 心臓外科